

第45学年週刊情報誌

学年通信

45回生版

兵庫県立伊川谷高等学校 45回生
 発行所 〒651-2104 神戸市西区伊川谷町長坂 910-5
 県立伊川谷高校 印刷室
 電話 代表 078-974-5630
 FAX 078-974-5631
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~kavadani-hs/>

紙面から

5 4 3 2 1
 コロナ禍の講演会
 午前中の短縮授業実施
 創意工夫の文化祭
 部活動は今…
 6月の行事予定

兵庫県立伊川谷高等学校
 校歌(1番)
 作詞 黒部 孝
 作曲 岡村 健治

若者の
 萌ゆる岡辺に 陽はあふれ
 清らかな命 育まむ
 とこしえに たゆみなく
 道の奥底を 究むるところ
 うるわし母校 伊川谷高校

学年キャッチフレーズ
笑顔・夢
 校訓
自主協同

コロナ禍の講演会

ICTの活用で乗り越えよう

『総合的な探究の時間』ですが、そもそも皆さん『探究』って何か分かりますか？



「総合的な探究の時間」ですが、そもそも皆さん『探究』って何か分かりますか？

「え、この時期に外部の人を呼んで講演会するの？」「いや、そこは文明の利器、今はやりの『ZOOM』を活用してのオンライン講演会です。伊川谷高校、どんどん新しいことにチャレンジしています。」

公演開始前、事前に職員室で先生達が甲南大学と回線を繋ぎます。マイクはボイスにしています。

「この草原の中にある○○…安心してフランクな会話が口から出ています。すると他のPCで繋いでいる先生から、『全部聞こえてます』(泣)。

午前中の短縮授業実施

4月の最終週、3日間の午前中は45分授業となりました。そして昼休みの終わりにSHRを挟み、午後からは普通に50分授業を行いました。この変則的な時間割は何のためか？

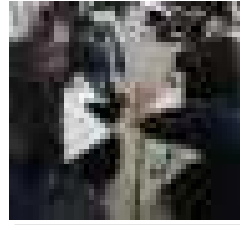
実は前の週、コロナによる学年閉鎖を行っていた3年生の授業が再開されたのですが、まだまだ欠席者も多く、また食事時の感染を避けるため3年生は午前中のみ授業となりました。しかしバス通学の多いイカ高生、

12時40分に学校が終わってもバスがないのです。その中で翌日より全学年、午前中は45分授業を行い、12時20分に終了するようにしました。

「それなら午後も45分授業にして早く終わつたらえやなくて！」



気分だけでも楽しくしたいよね



シーツの見せ合い

令和は席替えもICT

画面のルーレットに注目

各種検診も延期です

医療機関の混乱や本校のコロナ感染状況を考慮して、4月に行う予定だった各種検診を5月以降に延期しています。当初の予定表に無かった日に検診が入ります。

何事も感謝の気持ちで！

創意工夫の文化祭

【コロナ禍の実施を模索】

昨年実施できなかった文化祭、今年こそは形を変えてでも実施できればと、生徒指導部を中心にあれこれと案が出ています。それを受け、各クラスでも内容の検討に入りました。基本としては、『各クラス展示を行い、クラス有志でステージ発表も可』です。

「ふーせんOKですか？」
 「ポンプで膨らませるなら、ここでも感染対策が盛り込まれています。」
 「先生、何か良い案ないですか？」
 「出ました、脅威の『他力本願』です。自分達の道は自分達で切り開いてください。」

謎が謎を呼びます(至言笑)。仕切るのも大変そう。

人類が新型コロナウイルスと闘って1年以上経つが、未だに分らない事だらけである。少なくとも今の日本は『コロナに打ち勝つ』とはほど遠い状況である。『コロナの分りにくい点の一つに』『症状』がある。命を奪う症状の場合もある。また、たとえ検査で陰性が出て、その信頼度は7割程度しかない。つまり、検査で陰性でも即、安心はできないのである。▼人によって、立場によって、生活状況によって、コロナの感染に鈍感であったり敏感であったり様々である。また、注意すべき点も人により様々である。かかってはいけない、周りにうつしてはいけない、周りにうつして人ほど、様々な面で敏感になる。▼普段であれば気にも留めないような体調の変化も、今の時期では心配の種となる。自分自身のことだけでなく、周囲にうつす心配がある。明確な発熱等の症状があれば仕事を休む決意もできるが、普段より咳が出る程度であれば、『もしも』の思いから仕事を休むのにためらいが生じてもおかしくはない。いつまで休めばいいのかという明確な期日も分からない。特に収入に直結する働き方をしている人は、本当に悩まばらくなる。

▼仕事だけでなく、学校への登校も同じことである。登校すべきかどうかの自己判断など、高校生自身がなかなかできないものではない。だからこそ、今のこのコロナによる緊急事態の中、いろいろな事が不公平にならないよう、臨機応変が求められるのは当たり前なことである。

(福田)

天性人語45th

人類が新型コロナウイルスと闘って1年以上経つが、未だに分らない事だらけである。少なくとも今の日本は『コロナに打ち勝つ』とはほど遠い状況である。『コロナの分りにくい点の一つに』『症状』がある。命を奪う症状の場合もある。また、たとえ検査で陰性が出て、その信頼度は7割程度しかない。つまり、検査で陰性でも即、安心はできないのである。▼人によって、立場によって、生活状況によって、コロナの感染に鈍感であったり敏感であったり様々である。また、注意すべき点も人により様々である。かかってはいけない、周りにうつして人ほど、様々な面で敏感になる。▼普段であれば気にも留めないような体調の変化も、今の時期では心配の種となる。自分自身のことだけでなく、周囲にうつす心配がある。明確な発熱等の症状があれば仕事を休む決意もできるが、普段より咳が出る程度であれば、『もしも』の思いから仕事を休むのにためらいが生じてもおかしくはない。いつまで休めばいいのかという明確な期日も分からない。特に収入に直結する働き方をしている人は、本当に悩まばらくなる。

▼仕事だけでなく、学校への登校も同じことである。登校すべきかどうかの自己判断など、高校生自身がなかなかできないものではない。だからこそ、今のこのコロナによる緊急事態の中、いろいろな事が不公平にならないよう、臨機応変が求められるのは当たり前なことである。

(福田)

伊川谷高校 45th

プロが集う教諭陣

望まれるのは「豊かな人間性」。春の欲張りキャンペーン！

明るくやさしく友達思いの仲間達

一人一人の笑顔大切に

チームを組んで取り組みます！

共に喜び合い、共に高め合う

笑顔こそが一番！
 そう思える45回生のみんな

3年間の『繋がり』を大切に

「明日」のために「今日」を頑張る45thの若者達

想い出は、自身の方で作るモノ

今日一日二度と無い大事な時間

一つ笑顔が、十人の人の笑顔を作る…

何処かで、誰かが、貴方達を…

ありがとうその一言に支えられ

今のあなたが居るのは他の沢山の誰かのおかげ

School of Life 伊川谷高等学校 45回生

読者のページ

School Teacher @ Voice

人権のちびとぞう

親は子を愛して当たり前というプレッシャー

近年、児童虐待や育児放棄など様々な事件が頻発している。これらの事件の報道を聞いて、多くの人が、『どうして我が子にこんな酷い事を?』と怒り、『別の子』を持った親も少なからずいるのではないだろうか? 子どもは可愛い。しかし子育てとなると一筋縄ではいかない。泣く、喚く、おしっこやウンチもする。イヤイヤ期の反抗も親には大きなダメージである。可愛いはずの我が子を一瞬疎ましく思い、そんな自分に自己嫌悪を感じた経験のある親もたくさん居るはずである。

特に母親は、我が子が大病にかかったら自分を責める。病気の原因が自分と全く関係なくとも、『どうして?』と健康に産んであげられなかったのか?と。男親などは単純なだけで、子どもが産まれたらそれだけで嬉しいモノだが、女親はそんなに単純ではない。いろんな事に引け目を持ち、子育てにプレッシャーを背負っている。そして何かあれば自分に責任を感じてしまうのだ。そんな子育ての中で、重要になってくるのが『親の孤立』である。全てを自分の責任と抱え込み、プレッシャーを増大させる。そしてこれらの積み重ねが児童虐待や育児放棄に繋がっていく。『おそろく誰かが一重』の話ではないだろうか? 子育てで最も大切な事は、『何でも一人で抱え込まない』という事である。『子どもを愛せない』という親に対し、『それはおかしいんじゃない?』と言う前に、『どうしたの?』と話を聞いてあげただけで、親のプレッシャーは随分と軽減する。『旦那が子育てで逃げない!』という事なのである。『手独身の私編集長が何を言っても説得力ないけど』



笑顔

いっぱい

コロナ禍における学校生活でも45回生、笑顔をお忘れずに過ごしています(笑)

100年先の未来を創る高校
伊川谷 good life

45th

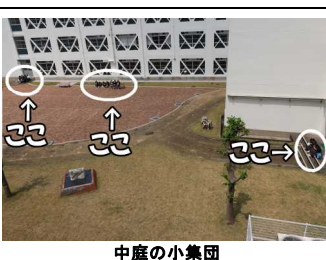
緊急事態宣言中の部活動はどうなっているのか? この記事が出る頃には更に踏み込んだ制限がかかっているかも知れませんが、記事執筆時の状況では、部活動でのクラスターや人の動きの抑制を考え、5月11日までの部活動は原則休止となつてしまつた。総体等の公式大会については部活動に取り組む生徒達にとって代え難いところであるため参加が認められています。また、大会のみの参加は怪我の元になるため、大会3週間前からの部活動実施も認められています。昨年の学校一斉休業を踏まえ、学校の通常授業を最優先に考えた結果が今回の制限に繋がっています。賛否両論あるとは思いますが、ここは一つ、ご理解の程をよろしくお願いいたします。

部活動は...
4月29日・5月11日の状況
緊急事態宣言中の部活動



▼働き者 アリさん
日差しの中、多くの生徒が密を避け、中庭で弁当を食べます。
「あ、私のゆで卵!」
見ると、Uさんの落としたゆで卵の黄身を、働き者のアリさんがせっせと運んでいます。自分の身体より大きな大きなものに...
▼頑張り! アリさん
働き者のアリさん

2年あれこれ



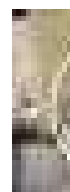
中庭の小集団

お国で暮らす生徒たち

食事中の密を避けるため、生徒は屋の時間になると校舎外のあちこちに散ります。A棟3階から中庭を見てみると、3カ所に集まっている45回生が確認できました。広いんだからもつと散ってもいいのと思ったけど、横一列に座っているので、まあ大丈夫かな? と思いました。

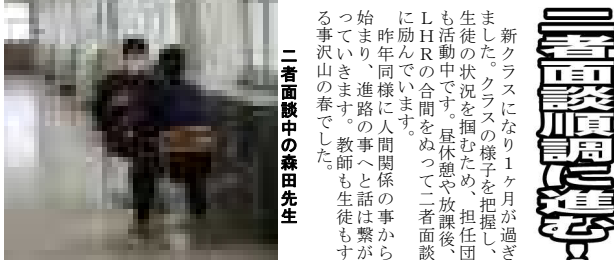
▼トリオ いつも授業中寝てませんかと言いますが...

▼創意工夫 掲示物に落書きをしてはいけません。でも、某クラスでは掲示ポスターに落書きではなく、マグネットビンやマグネットシルを用いて装飾を施していました。これは落書きではありません。創意工夫です。湿気によるポスターの丸まりも加わり、ビエロ笑えるじゃありませんか! (笑)



▼頭の丸い人達 ※装飾前は49号二面に掲載
「頭の丸い人達」
「シカクイアタマをマルカする」
「一時期電車やバスの吊り広告でよく見た某塾の宣伝文句です。頭の発想を柔らかく、という意味です。決してこの人たちのことではありません。

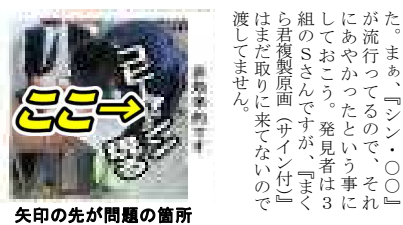
元はカオナシです
▼お手製オムライス H
さんが弁当に自作のオムライスを持ってきました。なかなか頑張りを持ってくださり、ありがとうございます。さりげない疑問をぶつけてみました。すると、「(カパンの)底で安定!」成る程、さすがは理系です、考えたな(笑)。



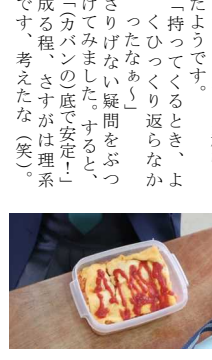
二重面談中の森田先生

学年ホワイトボードに新作現る

5月を目前に、学年ホワイトボードに鯉のぼりが出現しました。季節感があって良いですね。ほんの些細なこと、人の心は『ほっ』とするモノなのです。ありがと、Yさん!



矢印の先が問題の箇所



うわあ、やっちゃったぜい。学年通信49号の二面「非効率なコピーマシーン」にえらい誤植が。コピーマシンのシにXを重ねてコピーマンにしたかったのに、編集過程で下の写真がズレてました。おかげで「コピーマシーン」になっちゃいました。まあ「シン・○○」が流行つてるので、それにあやかったという事にしておこう。発見者は3組のSさんですが、「まくら君複製原画(サイン付)」はまだ取りに来ないのでもってません。

五色発見

6月の行事予定

6月の行事予定		※予定の変更にはご注意ください!	
1	火	16	水 教育相談
2	水	17	木
3	木	18	金 耳鼻科検診・教育実習(3週間)終了
4	金	19	土
5	土	20	日
6	日	21	月
7	月	22	火
8	火	23	水 内科検診
9	水	24	木 教育相談・尿検査(追加日)
10	木	25	金
11	金	26	土
12	土	27	日 中国語検定
13	日	28	月
14	月	29	火
15	火	30	水